



まるめキッチン
杉原 秀幸・美代さん

移住した武蔵町で創業 地域に恩返しを

兵庫県出身の杉原さんご夫妻。自分たちのペースでゆっくり暮らしたいと考え、移住先を探していました。移住候補先を巡る中で立ち寄った国東市の「海と山が近い、せいたくな環境」に一目ぼれ。家族で武蔵町に移り住み、飲食業を創業しました。

創業のきっかけ

これまで調理師として働いていましたが、「いつか独立して、自然に囲まれた場所でお店を開きたい」という夢を抱いていました。移住に合わせて創業も考えていた中で、市の空き家バンクで紹介されたこの物件（倉庫付き）



パロック
baroque
あみ
桃田 亜文さん

コロナ禍だからこそ ファッションで まちを明るく

桃田さんは、昨年12月に安岐町で洋服や靴などを取り扱う小売業を創業しました。ファッションが好きで、結婚して国東に住むまでは洋服店の店員をしていたという桃田さん。その経験を生かして、「ファッションでまちを明るくしたい」と創業に踏み切りました。

創業のきっかけ

地元でちょっとお買い物ができるお店があったらいいねって、友人とよく話をしていました。遠くまで行かなくても、かわいい服が市内で買えたら、すごく便利じゃない



ですか。そういうお店がないのなら、自分でやってみようと思って、思い切って創業しました。

創業支援補助金を 知った理由

最初に商工会に創業の相談に行っただんですが、そこで市の創業支援補助金を知りました。商工会の方が補助金申請のサポートをしてくれて、とても心強かったです。

コロナ禍での創業に対する思い

コロナ禍だからこそ、お店を始めました。コロナ禍で、人混みの多い街のお店には行きづらいですよね。だから、国東にオシャレなお店があったら、きっと皆さんに喜んでもらえると思うって。

今は、服は通信販売で安く買える時代です。でも、お客さんには「自分に似合う服を、気分よく納得して買ってもらいたい」と思うから、私は対面販売にこだわりたい。ファッションは、人を笑顔にする力があります。素敵なお店に身を包んで、コロナ禍

軒家）をすぐに気に入ったんです。お店が開ける理想の物件に巡り会えたことで、創業に向かっただけで進むことができました。

創業支援補助金を 知った理由

移住してすぐ、市報で知りました。創業の際の気持ちは、やっぱりお金の問題。だから、補助金は本当にありがたかったです。補助金の申請手続きは難しそうなおイメージがありましたが、市の担当の方が丁寧に教えてくれたので、思ったより簡単にできました。

創業して2年を振り返って

開店の日に、地域の皆さんがお祝いしてくれたことが、とてもうれしかったです。これまでいろんな所に住んできましたが、こんなに地域のみなさんと触れ合い、多くの知り合いに恵まれた場所はありません。国東の人々の温かさを感じました。皆さんが気軽に集まれるお店になって、地域に恩返しができるいいなと思っています。

でも明るい気持ちになってほしいですね。

これから創業を 考える方へ

私は、創業してよかったなと思っています。お店を通じて多くの出会いがあり、毎日楽しいです。創業には補助金があるし、応援してくれる人もいっぱいいます。「こんなお店があったらいいな」という思いを、自分で実現してみるのも面白いですよ。



パロック
baroque



安岐町下原1239
☎090-2517-8905
定休日:日・月
営業時間:午前10時~午後5時

これから創業を 考える方へ

お店ができると、地域の方々にとっても喜ばれます。お店を開けばにぎわいが生まれ、地域活性化に貢献できることを実感しました。また、初めて個人事業主になりましたが、皆さんの応援のおかげで、やっていけています。創業してよかったと、実感しています。



まるめキッチン

武蔵町成吉622
☎97-1348
定休日:月・木・日
営業時間:
ランチ 午前11時~午後2時
カフェ 午後2時~4時